

令和4年度 陸用内燃機関生産（国内、海外）・輸出当初見通しについて

一般社団法人 日本陸用内燃機関協会

令和4年1月下旬より3月上旬にかけてエンジンメーカー17社を対象にアンケート調査を実施し、令和3年度陸用内燃機関の生産（国内、海外）・輸出実績見込み及び令和4年度の当初見通しをまとめました。陸用内燃機関生産、輸出見通し調査は当初（2月調査）、中間（8月調査）の年2回実施しております。尚、ガス機関につきましては、平成25年度分より統計資料として取りまとめております。

令和3年度の国内生産台数は、ガソリン機関、ディーゼル機関、ガス機関が共に増加し、全体で対前年度114.2%の3,818千台と、3年ぶりに増加の見込みとなりました。また、海外生産台数もガソリン機関、ディーゼル機関が増加し、対前年度112.8%の10,288千台と5年ぶりに増加の見込みとなり、これにより国内と海外を合わせた生産台数は、対前年度113.2%の14,106千台と3年ぶりに増加の見込みとなりました。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響から回復基調となった前年度下期の流れが継続し、中国のインフラ投資政策による建機需要、欧米の巣ごもりによるガーデニング需要の増加、また、国内の定額給付金による個人向け機器の需要や政府補助金による防災発電機需要等により、国内生産、海外生産共に増産となりました。一方で、世界的な部品供給不足やコンテナ不足による影響がみられます。

令和4年度も引き続き需要増加が見込まれる一方で、欧米のガーデニングや建機需要、中国建機需要に減速の兆しも見られ、また、サプライチェーン問題の影響やウクライナ情勢による景気減速等の懸念もあり、見通しは不安定な状況です。

このような中、令和4年度の国内生産はディーゼル機関、ガス機関が増加するもののガソリン機関が減少し、対前年度100.0%の3,816千台と前年並みの見通しとなりました。海外生産は、ガソリン機関、ディーゼル機関が増加し、対前年度105.0%の10,798千台と2年連続増加の見通しとなり、国内と海外を合わせた生産台数は対前年度103.6%の14,614千台と2年連続増加の見通しとなりました。また、海外生産比率は、ガソリン機関が上昇し、全体では対前年度1.0ポイント上昇の73.9%と過去最高になる見通しです。

令和3年度の実績見込みと令和4年度の当初見通しを以下のようにまとめました。

〔国内生産〕

（1）ガソリン機関

令和3年度の国内生産は、台数で対前年度103.6%の1,986千台、金額は104.8%の413億円の見込みです。

令和4年度の国内生産は、台数で対前年度95.3%の1,893千台の見通しです。

（2）ディーゼル機関

令和3年度の国内生産は、台数で対前年度127.6%の1,739千台、金額は122.1%の5,985億円の見込みです。

令和4年度の国内生産は、台数で対前年度104.0%の1,809千台の見通しです。

（3）ガス機関

令和3年度の国内生産は、台数で対前年度144.8%の93千台、金額は129.1%の232億円の見込みです。

令和4年度の国内生産は、台数で対前年度122.5%の114千台の見通しです。

以上の結果、令和3年度の陸用内燃機関の国内生産台数は、対前年度114.2%の3,818千台、金額は121.1%の6,630億円の見込みとなりました。また、令和4年度の国内生産台数は、対前年度100.0%の3,816千台の見通しとなりました。

[輸出]

(1) ガソリン機関

令和3年度の輸出は、台数で対前年度110.8%の266千台、金額は113.4%の70億円の見込みです。

令和4年度の輸出は、台数で対前年度98.7%の263千台の見通しです。

(2) ディーゼル機関

令和3年度の輸出は、台数で対前年度124.6%の1,291千台、金額は123.0%の3,651億円の見込みです。

令和4年度の輸出は、台数で対前年度100.6%の1,298千台の見通しです。

(3) ガス機関

令和3年度の輸出は、台数で対前年度164.5%の53千台、金額は182.2%の134億円の見込みです。

令和4年度の輸出は、台数で対前年度123.4%の65千台の見通しです。

以上の結果、令和3年度の陸用内燃機関の輸出台数は、対前年度123.0%の1,610千台、金額は124.2%の3,856億円の見込みとなりました。また、令和4年度の輸出台数は、対前年度101.0%の1,626千台の見通しとなりました。

[海外生産]

ガソリンは北米やアジア、ディーゼルはアジアや欧州を中心に海外8カ国において、会員企業9社が生産を行っています。

(1) ガソリン機関

令和3年度の海外生産台数は、対前年度113.3%の9,878千台の見込みです。

令和4年度の海外生産台数は、対前年度105.2%の10,389千台の見通しです。

(2) ディーゼル機関

令和3年度の海外生産台数は、対前年度106.7%の398千台の見込みです。

令和4年度の海外生産台数は、対前年度102.0%の406千台の見通しです。

(3) ガス機関

令和3年度の海外生産台数は、対前年度38.6%の11千台の見込みです。

令和4年度の海外生産台数は、対前年度20.2%の2千台の見通しです。

以上の結果、令和3年度の陸用内燃機関の海外生産台数は、対前年度112.8%の10,288千台の見込みとなりました。また、令和4年度の陸用内燃機関の海外生産台数は、対前年度105.0%の10,798千台の見通しとなりました。

[国内・海外生産合計]

(1) ガソリン機関

令和3年度の国内・海外生産合計台数は、対前年度111.6%の11,864千台の見込みです。

令和4年度の国内・海外生産合計台数は、対前年度103.5%の12,282千台の見通しです。

(2) ディーゼル機関

令和3年度の国内・海外生産合計台数は、対前年度123.1%の2,137千台の見込みです。

令和4年度の国内・海外生産合計台数は、対前年度103.7%の2,215千台の見通しです。

(3) ガス機関

令和3年度の国内・海外生産合計台数は、対前年度111.2%の105千台の見込みです。

令和4年度の国内・海外生産合計台数は、対前年度111.3%の116千台の見通しです。

以上の結果、令和3年度の陸用内燃機関の国内・海外生産合計台数は、対前年度113.2%の14,106千台の見込みとなりました。また、令和4年度の国内・海外生産合計台数は、対前年度103.6%の14,614千台の見通しとなりました。

令和4年度の海外生産比率は、ディーゼル機関とガス機関が低下したものの、ガソリン機関が過去最高の84.6%に上昇したことで、全体でも過去最高の73.9%となる見通しです。

以上

2022(R4)年度陸用内燃機関生産(国内、海外)・輸出当初見通し:年度ベース

一般社団法人日本陸用内燃機関協会
会員アンケートの集計値

国内生産

台数(単位:千台)

品目群	2020(R2)年度	2021(R3)年度		2022(R4)年度	
	実績	年度実績見込み	前年度比(%)	年度見通し	前年度比(%)
ガソリン機関	1,917	1,986	103.6%	1,893	95.3%
ディーゼル機関	1,362	1,739	127.6%	1,809	104.0%
ガス機関	64	93	144.8%	114	122.5%
合計	3,344	3,818	114.2%	3,816	100.0%

金額(単位:百万円)

品目群	2020(R2)年度	2021(R3)年度	
	実績	年度実績見込み	前年度比(%)
ガソリン機関	39,401	41,297	104.8%
ディーゼル機関	490,007	598,498	122.1%
ガス機関	17,941	23,168	129.1%
合計	547,349	662,963	121.1%

輸出

台数(単位:千台)

品目群	2020(R2)年度	2021(R3)年度		2022(R4)年度	
	実績	年度実績見込み	前年度比(%)	年度見通し	前年度比(%)
ガソリン機関	240	266	110.8%	263	98.7%
ディーゼル機関	1,036	1,291	124.6%	1,298	100.6%
ガス機関	32	53	164.5%	65	123.4%
合計	1,309	1,610	123.0%	1,626	101.0%

金額(単位:百万円)

品目群	2020(R2)年度	2021(R3)年度	
	実績	年度実績見込み	前年度比(%)
ガソリン機関	6,204	7,034	113.4%
ディーゼル機関	296,925	365,121	123.0%
ガス機関	7,370	13,425	182.2%
合計	310,499	385,580	124.2%

海外生産

台数(単位:千台)

品目群	2020(R2)年度	2021(R3)年度		2022(R4)年度	
	実績	年度実績見込み	前年度比(%)	年度見通し	前年度比(%)
ガソリン機関	8,715	9,878	113.3%	10,389	105.2%
ディーゼル機関	373	398	106.7%	406	102.0%
ガス機関	30	11	38.6%	2	20.2%
合計	9,118	10,288	112.8%	10,798	105.0%

国内・海外生産合計

台数(単位:千台)

品目群	2020(R2)年度	2021(R3)年度		2022(R4)年度	
	実績	年度実績見込み	前年度比(%)	年度見通し	前年度比(%)
ガソリン機関	10,632	11,864	111.6%	12,282	103.5%
ディーゼル機関	1,736	2,137	123.1%	2,215	103.7%
ガス機関	94	105	111.2%	116	111.3%
合計	12,462	14,106	113.2%	14,614	103.6%

海外生産比率

品目群	2020(R2)年度	2021(R3)年度		2022(R4)年度	
	実績	年度実績見込み	前年度比(ポイント)	年度見通し	前年度比(ポイント)
ガソリン機関	82.0%	83.3%	+1.3	84.6%	+1.3
ディーゼル機関	21.5%	18.6%	-2.9	18.3%	-0.3
ガス機関	31.7%	11.0%	-20.7	2.0%	-9.0
合計	73.2%	72.9%	-0.3	73.9%	+1.0

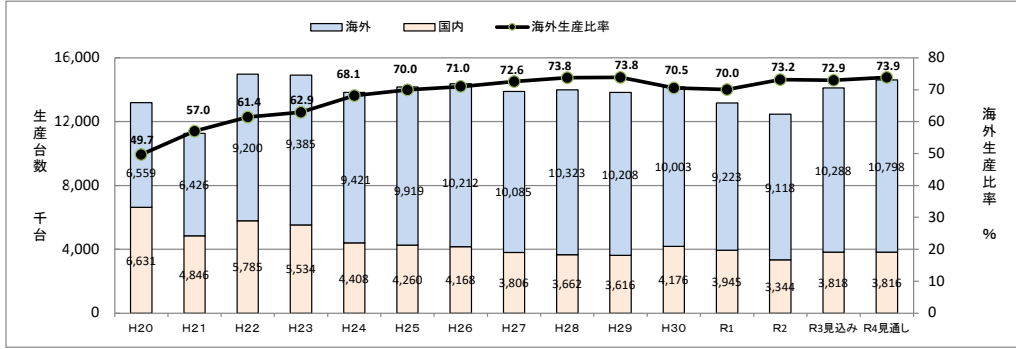
注記) 表中の台数は百の桁を四捨五入して千台単位で、金額は10万円の桁を四捨五入して百万円単位で表示しています。
海外生産台数との重複を避けるため、国内生産台数にはKD生産台数が含まれていません。

国内生産台数と海外生産台数の推移〔H20～R4(2022)年度〕【単体エンジン】 当初見通し

1. ガソリン、ディーゼル、ガス 合計

R4.4.1

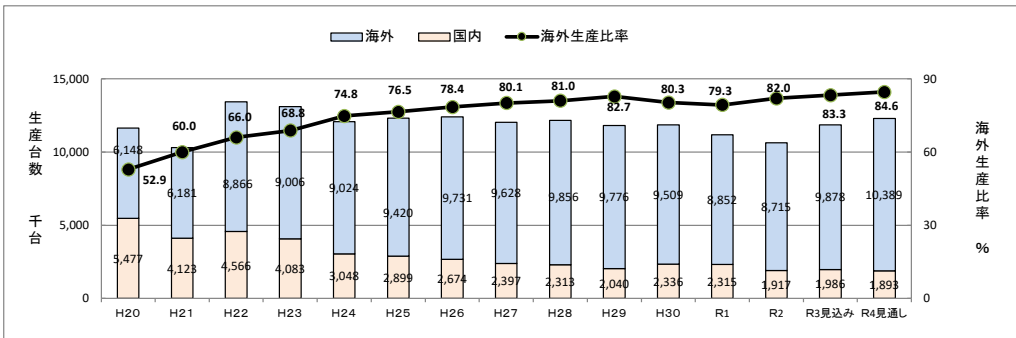
令和4(2022)年度は、新型コロナの影響からの回復基調が継続し、全体では海外生産台数が増加。前年度比103.6%の14,614千台と2年連続増加の見通し。



	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3見込み	R4見通し
合計	13,190	11,272	14,985	14,919	13,829	14,179	14,380	13,891	13,985	13,824	14,179	13,168	12,462	14,106	14,614
海外生産比率	49.7	57.0	61.4	62.9	68.1	70.0	71.0	72.6	73.8	73.8	70.5	70.0	73.2	72.9	73.9

2. ガソリンエンジン

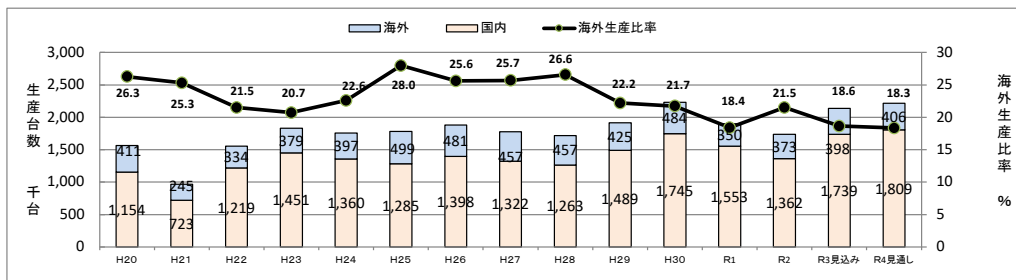
令和4(2022)年度は、海外生産が引き続き増加し、国内、海外の合計生産台数は2年連続増加の見通し。海外生産台数、比率は過去最高。



	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3見込み	R4見通し
ガソリン	11,625	10,304	13,432	13,089	12,072	12,319	12,405	12,025	12,169	11,816	11,845	11,167	10,632	11,884	12,282
海外生産比率	52.9	60.0	66.0	68.8	74.8	76.5	78.4	80.1	81.0	82.7	80.3	79.3	82.0	83.3	84.6

3. ディーゼルエンジン

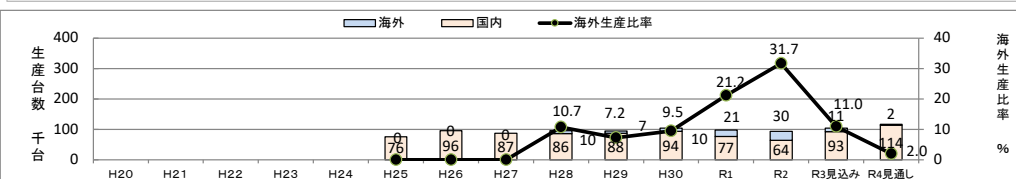
令和4(2022)年度は、国内、海外共に増加し、合計生産台数は2年連続増加の見通し。過去最高であったH30年度と同等となる見通し。



	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3見込み	R4見通し
ディーゼル	1,565	968	1,553	1,830	1,757	1,784	1,879	1,779	1,720	1,914	2,230	1,903	1,736	2,137	2,215
海外生産比率	26.3	25.3	21.5	20.7	22.6	28.0	25.6	25.7	26.6	22.2	21.7	18.4	21.5	18.6	18.3

4. ガスエンジン

H25年度から統計を取っている。生産台数は10万台レベルの水準で横ばいだが、令和4(2022)年度は海外生産が大きく減少する見通し。



	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3見込み	R4見通し
ガス	76	96	87	86	88	94	77	64	93	114					
国内	0	0	0	10	7	10	21	30	11	2					
海外	0	0	0	10	7	10	21	30	11	2					
合計	76	96	87	96	95	104	98	94	105	116					
海外生産比率	0	0	0	10.7	7.2	9.5	21.2	31.7	11.0	2.0					